令和７年度　事業報告

高齢化が進行し、厳しい経済情勢のなか、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の下、会員が長年培った知識、経験、技能を生かして働くことにより、高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、社会参加による「生涯現役社会」の実現と、活力ある高齢社会、地域づくりに貢献してまいりました。

以下、令和７年度事業実績について報告します。

１　会員の拡大

（１）会員の状況

令和８年３月末会員数：男性１０８名、女性９４名、合計２０２名。

最高年齢は男性８７歳、女性８８歳。平均年齢は７６．８歳。粗入会率は４．６％でありました。

（２）調査研究

新しい事業を発掘し高齢者の就業率の向上を図るために、大口町コミュニティ・ワークセンターの独自事業「カフェきんもくせい」の事業運営について、役職員による視察研修を実施しました。

（３）普及啓発への取り組み

入会促進活動として、町広報誌、年１回１０月発行の「シルバーとよやま」による入会案内を掲載しました。

健康福祉フェスティバルでは、入会チラシとポケットティッシュの配布をしました。入会希望する６０歳以上の方を対象にした入会説明会を６回開催しました。

女性委員会活動では、委員会を年６回開催しました。女性会員拡大に向けた、みそづくり教室・女性限定座談会を計画実施しました。

食育事業として、夏休み中の小学生を対象とした親子食育講座を開催し、シルバー人材センターの普及啓発に努めました。

広報活動では、ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの定期的更新と会員向け「月刊しるばーだより」を毎月発行しました。

２　事業実績

（１）請負・委任等事業

受注件数は４２０件（公共事業８．８％、一般企業等１５．０％、個人・家庭７５．２％、独自事業１．０％）、就業延人員は２２，６６０人日でした。

契約金額は１１３，４７７，１８２円（公共事業５０．６％、一般企業等４２．２％、個人・家庭７．２％、）、前年度対比で０．２１％の減額となり、就業実人員は１８０人、就業率：８９．１％となりました。

（２）派遣事業

受注件数３社３件であり、契約金額は２，０４１，５３６円で、就業延人員は７３９人日でした。令和７年度は、県の広域防災拠点関連の埋蔵文化財発掘調査業務の受注が無くなったことにより実績が大幅に減少しました。

（３）指定管理事業

会員の就業機会を確保するため、町内に３か所ある豊山町学習等供用施設を管理運営しており、施設の利用受付・清掃・保守業務等に従事しています。令和７年度は令和１１年度までの契約を更新しました。

（４）独自事業

包丁研ぎは１６，０５０円、野菜の販売は１６，２２０円、花卉作りは１，７５０円、似顔絵制作は７００円の売上げとなりました。

３　安全・適正就業の推進

役員、職員による安全就業パトロールを年間８回実施しました。安全意識の高揚に努めた結果、傷害事故も賠償事故も発生しませんでした。

会員の就業時間内に起きる事故の発生状況とその予防策の再確認として、事故防止研修会を開催しました。

道路交通法改正による交通反則通告制度（青切符）の導入に向け、交通安全講習会を開催し、自転車を走行する際の基本的な交通ルールを確認しました。

４　会員の交流と地域との交流

シルバー会員相互のふれあいと地域交流の場として、３回目となるシルバー感謝デーを開催しました。豚汁の無料提供を始め、野菜・花苗の販売等を実施しました。

趣味の同好会活動としては、ボウリング同好会が主催する毎月１回のボウリング大会で会員相互の交流が図られました。

５　ボランティア活動の推進

ペットボトルキャップの回収を実施しており、本年度は２７８人分のポリオワクチンを寄付することが出来ました。また、令和２年度からの累計で１，８７９人分の寄付をしております。